

# JAPANESE

## 1940s-70s

# MODERN

# DESIGN

## ジャパニーズ・モダンデザインの誕生

—1940年代から70年代—

2020年1月14日(火) — 2月22日(土)

京都工芸繊維大学美術工芸資料館

開館時間 10:00—17:00 (入館は16:30まで)

休館日 日曜・祝日、1月18日(土)

入館料 一般200円、大学生150円、高校生以下無料

京都・大学ミュージアム連携所属大学の学生・院生は学生証の提示により無料で入場できます。

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳または被爆者健康手帳をお持ちの方及び付添の方1名は無料です。(入館の際は、手帳の提示をお願いします。)

お問合せ 606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町

TEL 075-724-7924 <http://www.museum.kit.ac.jp/>

主催：京都工芸繊維大学美術工芸資料館 共催：山鬼文庫  
企画：京都工芸繊維大学美術工芸資料館

京都工芸繊維大学  
美術工芸資料館  
MUSEUM AND ARCHIVES



京都・大学ミュージアム連携  
University Museum Association of Kyoto

# ジャパニーズ・モダンデザインの誕生 —1940年代から70年代—

「山鬼文庫」(金沢市)は、元金沢美術工芸大学教授の森仁史氏が収集した美術・デザイン・歴史・思想関係の図書を集めた私設図書館であるが、ここには同氏が収集した近現代のデザイン関係資料も多く収蔵されている。この展覧会では森氏が収蔵されたデザイン資料を展示することにより、日本のモダンデザインの誕生からその展開までを示す。

展示構成は、第1部「グラフィック・写真のモダンデザイン」、第2部「家具にみるジャパニーズ・モダンデザイン」、第3部「戦後日本のプロダクトデザイン」および「山鬼文庫所蔵のデザイン教本」(附属図書館)からなる。第1部では戦前、戦中期に刊行された国策雑誌を中心に、アメリカの写真誌を参考にしたデザインの諸相を展示する。第2部では、1970年代までに制作された家具を中心に、第3部ではプロダクトデザイン製品を通して、日本のモダンデザインが形成されてくる過程を示す。また、附属図書館では、明治時代末から戦中期にかけての雑誌やデザイン教本、デザイン戦略に関する書籍を展示する。

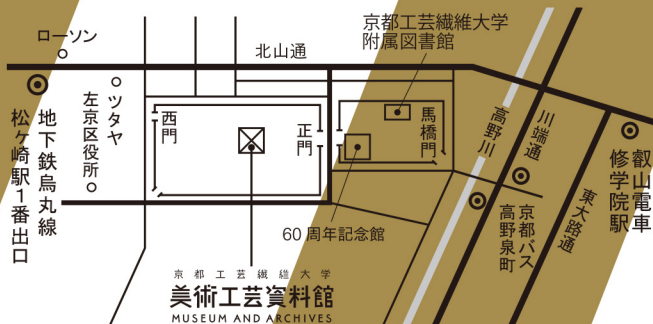
## 関連イベント

公開講座「書籍・雑誌にみるジャパニーズ・モダンデザイン」  
日時：2020年1月31日(金) 15:00～17:00  
場所：京都工芸繊維大学附属図書館研修室A  
講師：森仁史(山鬼文庫)

シンポジウム「ジャパニーズ・モダンデザインの誕生」  
日時：2020年2月1日(土) 13:30～17:00  
場所：京都工芸繊維大学60周年記念館2階大セミナー室  
基調講演：森仁史(山鬼文庫)  
パネリスト：榎勝彦・多田羅景太・廬ユニア

## 京都工芸繊維大学美術工芸資料館

606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町 Tel 075-724-7924 <http://www.museum.kit.ac.jp/>



## 交通

○市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎駅」下車1番出口から徒歩約8分

○京都バス「高野泉町」下車徒歩約10分

○叡山電車「修学院駅」下車徒歩約15分

By Subways: Take the "Kokusai Kaikan" bound Karasuma Line Subway to "Matsugasaki" Station, and walk east for 8 minutes.

By Bus: Get off at "Takano-Izumi" stop and cross the Takano river. Walk west for 10 minutes.

By Eizan Railway: Get off at "Shugakuin" station and walk west for 15 minutes. Museum and Archives is located in front of the main entrance of KIT.



日本工房『NIPPON』昭和13年(1938)



渡辺力《デジタル時計 キャスロン 101+》昭和39年(1964)



渡辺力《ソリッド・スツール(再製作)》昭和29年(1954)



丹下健三《椅子》昭和32年(1957)



《アンサンブルステレオ<宴>》昭和40年(1965)